

## <C1 発表や話し合い>相手に伝わる表現の工夫を考える活動

### 国語科・中学校1年・スピーチ練習

ねらい：練習を通して、相手に伝わるような表現の工夫を考える。

- ① スピーチの様子をタブレット PC で撮影
  - ・ノートに話の構成や要点、話し方の工夫を記入したスピーチメモを作成する。
  - ・メモに沿って、スピーチの練習を行う。
  - ・ペアやグループになって、お互いのスピーチの様子を撮影する。
- ② 動画の確認、改善点の明確化
  - ・自分やグループのメンバーのスピーチの様子を動画で確認し、話の構成や表現の工夫、話し方や表情等の改善点をタブレット PC の付箋の機能等を用いて記録する。
  - ・記録した内容を基に、ペアやグループで、互いのスピーチのよかったところや改善点を話し合い、自分のスピーチを見直す。



### 期待される効果

スピーチを行っている自分の姿を客観的に見ることで、自分の表現のよいところや、改善点を明確にできる。

付箋の機能等を用いて互いの意見を共有し、話し合うことで、相手に伝わりやすい表現の工夫について、考えを深めることができる。

### 使用する機能：

動画の撮影と再生  
付箋

### 使用アプリ例：

Google フォト  
ワード 等